

市議会だより

かしば

人・街・暮らし

No.141

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎77-8221

9月21日（土）・22（日）に 「休日議会・決算特別委員会」を開催



▲休日議会・決算特別委員会のように

おもな内容

- 平成25年9月定例会の結果 …… 2～3 P
- 常任委員会の概要 …… 4 P
- 職員採用・人事に関する調査特別委員会 …… 5 P
- 決算特別委員会 …… 6 P
- 議員活動状況表 …… 7 P
- 一般質問 …… 7～13 P
- 平成25年12月定例会会期予定 …… 14 P
- 議会日誌 …… 14 P

平成25年9月第4回(定例会)香芝市議会結果

会期：9月10日～10月3日の24日間

平成24年度香芝市一般会計歳入歳出決算

訂正の件を承認後、認定（認第1号）

9月議会では、理事者から提出された報告事項4件、条例の改正4件、条例の廃止1件、補正予算3件、決算の認定8件、同意2件、議員から提出された意見書2件、請願2件、選挙1件、合計27議案を慎重に審議いたしました。

《理事者提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)	
報第11号	平成24年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告受理	
報第12号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
報第13号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
報第14号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分の報告について	報告受理	
議第38号	香芝市情報公開条例及び公益的法人等への香芝市職員の派遣等に関する条例の一部を改正することについて (審査内容 P4)	原案可決 (全会一致・出席14名)	
議第39号	香芝市の特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致・出席15名)	
議第40号	香芝市税条例の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致・出席14名)	
議第41号	香芝市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例等の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致・出席14名)	
議第42号	香芝市重度心身障害者等福祉年金条例を廃止することについて (審査内容 P4)	原案可決	出席15名 賛成12名 反対3名
議第43号	平成25年度香芝市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決 (全会一致・出席14名)	
議第44号	平成25年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (全会一致・出席15名)	
議第45号	平成25年度香芝市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (全会一致・出席15名)	
認第1号	平成24年度香芝市一般会計歳入歳出決算の認定について (審査内容 P6)	原案認定	出席15名 賛成13名 反対2名
認第2号	平成24年度香芝市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について (審査内容 P4)	原案認定	出席15名 賛成13名 反対2名
認第3号	平成24年度香芝市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	出席15名 賛成13名 反対2名

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)	
認第4号	平成24年度香芝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について (審査内容P4)	原案認定	出席 15名 賛成 13名 反対 2名
認第5号	平成24年度香芝市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 (全会一致・出席 15名)	
認第6号	平成24年度香芝市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 (全会一致・出席 14名)	
認第7号	平成24年度香芝市財産区財産特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 (全会一致・出席 14名)	
認第8号	平成24年度香芝市水道事業会計決算の認定について (審査内容P4)	原案認定 (全会一致・出席 15名)	
同第3号	香芝市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意 (全会一致・出席 15名)	
同第4号	香芝市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意 (全会一致・出席 15名)	

《議員提出議案》

議案番号	議案	提出者	審議の結果(議長を除く)	
意見書第2号	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書	中山 武彦	原案可決	出席 14名 賛成 12名 反対 2名
意見書第3号	「地方税財源の充実確保」を求める意見書	川田 裕	原案可決 (全会一致・出席 15名)	
請願第3号	ゾーン30を含む交通安全対策措置に関する請願書		継続審査	
請願第4号	香芝市総合プールの存続を求める請願書		みなし採択	
選第3号 (追加議案)	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について		選挙	

委員会名	委員会付託議案
総務経済委員会	議第38号、議第40号、議第41号、議第43号、認第6号、認第7号、意見書第2号、請願第3号
教育福祉委員会	議第42号、議第44号、議題45号、認第2号、認第3号、認第4号
建設環境委員会	認第5号、認第8号
決算特別委員会	認第1号

主な議案内容と委員会審査の概要

(平成25年9月議会)

議第38号 香芝市情報公開条例及び公益的法人等への香芝市職員の派遣等に関する条例の一部を改正することについて**【議案内容】**

香芝市土地開発公社の清算が終了したため、香芝市情報公開条例及び公益的法人等への香芝市職員の派遣等に関する条例から同公社に係る規定を削るものである。

【審査の概要】

(質疑) 公有財産活用検討委員会は、傍聴できるのか。

(答弁) 同委員会は、市の政策決定の審議を行うため、原則非公開である。

議第42号 香芝市重度心身障害者等福祉年金条例を廃止することについて**【議案内容】**

本案は、重度心身障害者又は重度心身障害児を監護している方に福祉年金を支給しているが、障害福祉施策を安定的、効果的に実施していく財源に充てるため、本条例を廃止するものである。

【審査の概要】

(質疑) 現在、何人の方が重度心身障害者等福祉年金を受給されているのか。

(答弁) 障害者数2,977人のうち年金受給者数1,322人であり、年金額は約3,200万円である。

(質疑) 重度心身障害者等福祉年金の廃止は、どのように決定したのか。

(答弁) 香芝市障害者計画策定委員会の委員から意見を拝聴し、最終的には香芝市障害者計画策定委員会から提言を受けて、市長が判断した。

認第2号 平成24年度香芝市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について**【議案内容】**

平成24年度香芝市国民健康保険特別会計の歳入総額は69億1,731万7千円、歳出総額は66億4,461万4千円で、歳入歳出差引額は2億7,270万3千円である。

【審査の概要】

(質疑) 平成23年度に続いて、平成24年度も単年度黒字であり、全体の累積も昨年度から黒字であるが、大きな理由は何か。

(答弁) 医療給付費が3%の増にとどまり、想定より少なかった。また、前期高齢者の交付金等が増加したためである。

認第4号 平成24年度香芝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について**【議案内容】**

平成24年度香芝市介護保険特別会計の歳入総額は34億7,447万円、歳出総額は34億1,932万7千円で、歳入歳出差引額は5,514万3千円である。

【審査の概要】

(質疑) 介護認定にあたっては、どのような調査を行っているのか。

(答弁) 介護認定調査員が、本人とその家族が同席のもと、申請者の動作や記憶力の状態など約70項目の認定調査を行い、全国的に統一された介護認定システムに入力し、1次判定を行う。その1次判定と主治医の意見書をもとに、介護認定審査会において、2次判定が行われ、要支援1から要介護5に認定される。

認第8号 平成24年度香芝市水道事業会計決算の認定について**【議案内容】**

歳入の決算額は、17億5,575万3,914円、執行率は99.2%であり、対前年度比は0.2%の減である。また、歳出の決算額は、17億6,232万3,231円、執行率は97.8%であり、対前年度比は0.4%の減である。

歳入歳出の差引額は、656万9,317円の損失である。

【審査の概要】

(質疑) 有収率の低下の原因は何か。

(答弁) 一番の原因は漏水と考えられるが、市民の節水意識の向上も原因である。

(質疑) 市に対し、金利0.45%で10億円の貸付をしているが、どのような経緯で貸付利率を定めたのか。

(答弁) 当初、市の財政当局と協議し、香芝市水道事業資産運用要綱を参考にした中で、貸付当時、市内の出納収取扱い金融機関の5年の大口定期預金の利率が0.3%、また市が土地開発公社解散資金を金融機関から借り入れする場合の利率が0.5%であり、双方のメリットを考慮し金利を定めた。

しかし、貸付期間が15年と長期であることから、新年度における利率は、金融情勢の変動に応じて市と協議したい。

第4回～第6回香芝市職員採用及び人事に関する調査特別委員会 副市長の勧奨退職手当について 手続上の瑕疵を認め市長が謝罪

委員長 森井 常夫 副委員長 川田 裕
委員 中川 廣美 細井 宏純 中山 武彦 池田 英子



第4回調査特別委員会（7月17日開催）

第5回調査特別委員会（8月5日開催）

【案件】「特定任期付職員について」「再任用について」

「臨時職員について」「副市長の勧奨退職手当について」

「第4回特別委員会における審査内容の確認事項について」等

（第4回）専門官、資格職、臨時職の採用、また、保育所の職員数についての質疑に対し、専門官の採用は、特定任期付では専門性が明確に出来ず、今後の採用はしない。資格職の採用に関して、任用関連の規則の見直しは、今年度中に行う。臨時職の採用は、専門的に判断する場合は、現場の職員が行うが、手続上は人事課が掌握し、最終的な判定をする。現在、保育所の職員数は認可基準割れであり、採用計画を早急に作成し、職員が充足するまで勤務時間外手当を付与するとの答弁が行われた。また「副市長の勧奨退職手当について」は、**支出に至る手続きの経緯の確認**が行われた。

（第5回）前回の委員会における指摘事項について、再任用を行う場合、恣意的（しいてき）な判定の余地が入らないように、外部委員に依頼する。保育所の職員数の不足に対しては、緊急的にハローワーク、人材ニュース等の募集を行った。この報告を受け、再任用試験の外部委員の対象者に関し、外部委員は、公平委員の3名を考えている。また、保育所の備品、修繕関係の経費不足についての質疑に対し、9月議会の補正予算に計上すると答弁。「副市長の勧奨退職手当について」は、不正支出の指摘がなされたが、市長は「支出は要綱に基づいた」と答弁。委員から**支出の法的根拠**の説明を求める質疑が行われたが、**答弁がなく次回の委員会で明確に報告するように議長から嚴重注意**が行われた。

第6回調査特別委員会（8月20日開催）

【案件】「第5回特別委員会審査における報告事項について」

「副市長に追加で支払われた退職手当への不正支出の疑いについて」

「職員の勤務評価に関することについて」「人事異動に関することについて」

第5回特別委員会における指摘事項について、理事者から回答を受けた。継続雇用の臨時職の解消に向けた採用計画は、保育所46名、幼稚園20名の正職化が必要であり、2年間で職員の不足分を解消したい。また、再任用は65歳を上限とし、新年度に再任用制度は実施すると答弁。

次に、「副市長に追加で支払われた退職手当への不正支出の疑いについて」の支出の法的根拠を求められていたことに関し、理事者から「**勧奨退職金の支出に関し不適正があった**」と答弁。委員から不正支出の内容として、「自己都合退職を、勧奨退職扱いに市長が変更した」、「退職の半年後に日付を遡り書類を作成したことは違法」、「行政処分の勝手な取消しは行政法に抵触する」等の確認が行われた。

第4回目から第6回目の委員会で審議された勧奨退職手当については、不正支出に関し**吉田市長は一切瑕疵を認めない態度**であった為に、解明に非常に時間を費やした。吉田市長から事件に対し「平成24年6月25日に副市長が自己都合により適正な手続のもと退職したにもかかわらず、平成24年12月11日及び17日に勧奨退職扱いした一切の手続は、行政手続上適正でないことが判明をしました。勧奨退職に関する一切の手続を**重大かつ明白な瑕疵があるもの**と認め、取り消しをする手続の処分を行います。今後は、二度とこのような行為が起こらないように、厳戒に法令等を遵守し、行政執行に取り組む所存であります。本当に申しわけありませんでした。」と瑕疵を認め、謝罪が行われた。**勧奨退職金の484万350円は速やかに返還**すると答弁。その他、人事異動に関することについては、勤務評定と人事評価の対比表、また勤務評定の級別標準偏差等、課長級の過去5年間の病気休暇取得状況についての関係書類の提出を要求した。

《103人の市民が休日議会を傍聴》

決算特別委員会 調定額等明白な瑕疵を指摘 理事者が陳謝

平成25年9月21日（土）・22日（日）・10月3日（木）開催

平成24年度香芝市一般会計歳入歳出決算

歳入総額	266億9,837万8千円
歳出総額	265億2,078万9千円
差引額	1億7,758万9千円



委員長 中村 良路 副委員長 細井 宏純
委員 中川 廣美 奥山 隆俊 中山 武彦 川田 裕 池田 英子

香芝市議会では、市民の方に議会に対する関心を高めてもらうことを趣旨とし、議員の資質向上と開かれた議会をめざして、平成23年に続き2回目となる決算特別委員会を休日に開催した。決算特別委員会では各委員の専門的な視点から、厳しい審査と多義にわたり是正要求が行われた。

審査過程の中では、市長の公約である「香芝市を4分割する地域自治区」について質疑され、公約を撤回する旨の答弁が行われた。また「香芝市の財政は破綻状態といってもおかしくない」との市長所信表明について質疑され、「香芝市の財政は悪くないことが分かった」と訂正する答弁が行われた。

その他、委員から貸付金元利収入にかかる調定決算額の間違い、更に財産に関する調書に多くの未記載が発覚した。また法律で義務付けられた書類に「重大かつ明白な瑕疵がある」と指摘され、前代未聞の決算書の間違いに「再提出」が求められた。市長からは、「深く反省しています。今後は緊張感を持って取り組みます。本当に申しわけございませんでした。」と陳謝がなされた。

その後、市長から河杉議長あてに認第1号平成24年度香芝市一般会計歳入歳出決算の訂正請求書が提出され、本会議最終日に認第1号の訂正の件を議題とし、訂正が承認されたため、決算特別委員会を再開し、採決の結果、賛成多数で認第1号を認定した。

決算特別委員会におけるおもな審査内容の一部

◎職員の採用試験について

(質疑) 職員の採用試験は、どのような選考方法で行っているのか。

(答弁) 過去の成績に重きを置いた採用から、1次合格者をふやし、成績に傾倒しない選考に努めている。

◎予算執行における、パフォーマンスについて

(質疑) いじめ啓発看板等設置工事等に係る経費は、新規事業にもかかわらず、前代未聞の流用の支出している。今後、このようなパフォーマンス支出は一切やめるべき。その点どのように考えているのか。

(答弁) 本件については深く反省しており、今後、予算執行にあたっては十二分に検討しながら取り組みたい。

◎公有財産の財産調書への掲載について

(質疑) ふたかみ文化センターの市民ホールの音響ミキサーの機器が壊れたため、予備費を流用して買われているが、市長が最終的に決裁しない限りは、予備費の流用はできないと決められた厳格なものである。なぜ補正予算で対応しないのか。また、この機器を公有財産の財産調書になぜ記載されていないのか。

(答弁) 決算書への重大な記載ミスであり、心からおわび申し上げます。

今後は、職員一同、緊張感を持って、再びこのようなことが起こらないように取り組んでいきます。との陳謝があった。

議員活動状況

(平成25年4月1日～平成25年8月20日)

		福岡 憲宏	上田井良二	中井 政友	下村 佳史	池田 英子	川田 裕	中山 武彦	奥山 隆俊	森井 常夫	中村 良路	関 義秀	小西 高吉	細井 宏純	中川 廣美	河杉 博之	北川 重信
質疑回数		55	17	38	23	81	886	82	32	16	41	23	12	25	58	14	1
一般質問		1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1			
議員 提出 議案	発議																
	意見書						2						1				
	決議						1								1		
請願書(代表紹介議員)				1													

※市議会では、年度に2回上記の議員活動状況を公表しています。

※ 河杉議員：平成25年4月から議長のため一般質問等はありません。

※ 建設環境委員会（委員長：細井、副委員長：中村、委員：北川、関、上田井）は、6月議会において案件がなかったため、委員会での質疑はありません。

川田 裕

- 香芝市本庁舎の耐震化について
- 保育所環境の改善について
- 勸奨退職制度の廃止について

上田井 良二

- 介護保険のサービスについて
- デマンド交通のPRとアンケートについて

一般質問 質問者・項目



<http://www.gijiroku.net/city.kashiba/>

9月定例会の一般質問は9月26日・27日に行われ、8人の議員が市政全般にわたり市の見解をいただきました。その内容は次のとおりです。
(掲載は質問順)

福岡 憲宏

- 香芝市障害者支援センターについて
- 快適な学校生活について

下村 佳史

- 教育の充実について
- 安全安心なまちづくりについて
- 道路整備の充実について

池田 英子

- 総合プールの再開について
- 保育所の民営化について
- 「子ども・子育て支援新制度」について

中山 武彦

- 市民の健康づくりについて
- 子どもの安全と子育て支援について

中村 良路

- JR香芝駅南側の狭隘な踏切と駅プラットホームの整備について
- 市道沿いの側溝について

中井 政友

- 教育環境整備と子育て支援について
- 保育所の今後のあり方について
- 指定管理者条例制定について

※詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。

川田 裕 議員

▼香芝市本庁舎の耐震化について

(問) 庁舎の耐震診断結果は、どのようなになっているのか。

(総務部長) 大規模の震災の場合、倒壊し大惨事になると考えている。

(問) 本庁の耐震化工事の優先順位と今後の耐震化費用は、どのように考えているのか。

(総務部長) 庁舎耐震化の優先順位は最上位と考えている。また、耐震化費用の試算は約6億円、工法が変われば8億円以上の可能性もある。

(問) 公債費比率は現在20%を僅かに上回るが、耐震化費用の借金が半分の約4億円と仮定した場合、どれくらい上乘せになるのか。

(総務部長) 5年間で事業を平準化すれば、公債費比率は22%に達しないとは考えている。

(問) ごみ焼却施設や総合プール、保育所整備、その他事業を考えた場合、5年間で財政計画は如何か。

(総務部長) 今後の5年間は重要な事業が目白押しで、非常に厳しい財政状況になると認識している。

(問) 防災や減災関連の補助金や交付税措置等の財政支援は、現在どのようなものが提示されているのか。

(総務部長) 補助金適用は、く僅かである。緊急防災・減災事業としては、

地方公務員給与の臨時特例に対応して今年度限りの事業だが、市債の充当率は100%、うち交付税措置70%で、本市の負担は3割程度の財政支

援が来年度も行われる可能性がある。

(問) なぜ、今年度の財政支援があるときに、何も行っていないのか。

(市長) 今後、優先順位を上げてやっていきたい。

(問) 財政支援を受けるには、耐震化工事の設計や調査は、今年度中に行う必要があると思うが、如何か。

(総務部長) 設計や工事で約2年はかかると思うので、今年度から準備する必要があると考えている。

(問) 時間的に逆算すれば、12月議会の補正予算で提案しなければ、財政支援に間に合わないが、如何か。

(総務部長) 12月議会で設計関係の補正予算を提案し、来年度には耐震化工事を行いたい。

▼保育所環境の改善について

(問) 特別委員会で決定した保育所の超過勤務対策は、どのような効果があったか検証しているのか。

(福祉健康部長) 運用面で工夫し、在宅勤務を行っている。

(問) 超過勤務は指示系統に問題があったが、改善事項は何か。

(福祉健康部長) 在宅等勤務申請書兼報告書により、所管課長が超過勤務を確認する体制に改めた。

(問) 保育所の整備計画では特別委員会でも多くの整備箇所を指摘したが、計画内容の進捗状況は。また、いつまでに策定できるのか。

(福祉健康部長) 建物の増築やリニューアル、送迎場所の確保など、できるだけスムーズに進めたい。

(問) 子ども支援課も技師のチェック体制が必要と思うが、如何か。

(企画部次長) 今後、担当部局に協力を要請し構築していきたい。

▼勸奨退職制度の廃止について

(問) 本来、勸奨退職制度は条例に基づくものであり、要綱で定めるものではないが、この制度の趣旨はどのように解釈しているのか。

(企画部次長) 本来は、定年制度のない時代の、人事の刷新や新陳代謝を図り、効率的な組織運営を前提とした国家公務員の制度である。

(問) 法的に勸奨退職制度は今の時代の制度に合わないが、その点はどうのように解釈しているのか。

(企画部次長) 勸奨退職制度は、少し目的が離れていると考えている。

(問) 古い勸奨退職制度は、12月議会で見直すべきだが、如何か。

(企画部次長) 本来の制度の趣旨にする意味でも、早急に対応するのが適当と考えている。

(要望) 先進団体の香芝市として、早急に対応するように要望する。

上田井良一 議員

▼介護保険のサービスについて

(問) 本市で、介護サービスを利用されている人数は、どれくらいになるのか。

(健康局長) 平成25年3月末で、要支援者が350人、要介護者が1,432人、合計で1,782人が利用されている。

(問) 介護サービスの利用者数は、どのような状況なのか。

(健康局長) 介護サービスが始まった平成12年度から比べると、利用者数は3倍以上になっている。

(問) 市内には、どれくらいの介護サービス事業の施設があるのか。

(健康局長) 特別養護老人ホームなどが6カ所、グループホームが8カ所、訪問介護などが85カ所、合計で99カ所となる。

(問) これからはさらに高齢者が増加していくと思うが、高齢者施設の整備は、どのように考えているのか。

(健康局長) 介護保険事業計画に基づいて整備を行っており、来年4月には小規模特別養護老人ホームも開設される予定である。

(問) 市内にある介護施設は、現在、どのような利用状況なのか。

(健康局長) 介護サービスを利用される方は非常に多く、ほとんどの

施設は満床の状態である。

〔問〕 介護事業者から提出された報告書のチェックは、どのように行っているのか。

〔健康局長〕 国で定められた給付算定基準や事業者のケアプランを照合するとともに、事業所の実地調査も行っている。

〔問〕 介護サービスを受けている人のチェック体制は、どのように行っているのか。

〔健康局長〕 事業者のケアプランが、適切に受給者に提供されているかどうか確認をしている。

〔問〕 介護サービスを受けた以上に、高額な料金を請求されたようなケースのチェック体制は、どのように行っているのか。

〔健康局長〕 介護サービスは国で定めた給付算定基準があるため、事業所の実地調査により確認している。

▼デマンド交通のPRとアンケートについて

〔問〕 10月1日からデマンド交通の実証運行が始まるが、現在はどうのようにPRをしているのか。



▲庁舎前でされたデマンド交通の出発式

〔危機管理部長〕 広報7月号にデマ

ンド交通の内容を掲載し、8月号には共通乗降場所などを掲載した利用案内書を折り込んでいます。

〔問〕 デマンド交通の実証運行は、PR不足で高齢者に周知されていないと思うが、その点はどのように考えているのか。

〔危機管理部長〕 現在は、各公共施設をはじめ、運行を委託しているタクシーによりPRを行っている。

〔問〕 周知にあたっては、回覧板を希望される高齢者もいるが、その点はどのように考えているのか。

〔危機管理部長〕 広報紙や老人クラブの集会などで周知しており、今は所管課と協議したい。

〔問〕 デマンド交通の実証運行について、今後、アンケート調査はどのように行うのか。

〔危機管理部長〕 実証運行時にアンケート用紙を配布し、車内で記入してもらおう方法を考えている。今後は、すぐに記入できない場合もあるので郵送も検討したい。

〔問〕 アンケート調査は、利用者だけでなくより多くの市民の意見を聞くことが必要と思うが、その点はどのように考えているのか。

〔危機管理部長〕 デマンド交通については、運行だけでなく見直しも含めた意向を把握するため、利用者以外のアンケート調査も実施したい。

福岡 憲宏 議員

▼香芝市障害者支援センターについて

〔問〕 「すみれの里」は、第三者評価機関設置を検討されていたが、その後の進捗状況はどのようになっているのか。

〔福祉健康部長〕

10月から、特定非営利法人による第三者評価を実施する予定である。

〔問〕 障がい者福祉施設及び施設運営に対して、当事者の参画は今の主流と思うが、その点はどのように考えているのか。



▲第三者評価を実施する「すみれの里」

〔福祉健康部長〕 第三者評価機関は奈良県が認証しており、公正・中立に評価されるものと考えている。

〔問〕 第三者評価機関は、家族や本人の意見は聞き入れられないのか。

〔福祉健康部長〕 利用者の調査なども実施されると考えている。

〔問〕 評価にあたっては、指定管理者の自己評価、市による評価、利用者への評価を加えられないのか。

〔福祉健康部長〕 基本協定において、指定管理者の自己評価、市による評価、外部機関による第三者評価

を規定している。

〔問〕 基本協定では利用者の意見が入っていないが、その点はどのように考えているのか。

〔福祉健康部長〕 利用者の意見は、その場で指摘されるものと考えている。

〔問〕 指定管理者の自己評価、市による評価、利用者の評価、この3点は反映されるのか。

〔市長〕 これらが反映されて、正しい判断ができると考えている。

〔問〕 「すみれの里」は、重度の障がい者を受け入れるための中心的な施設にならないのか。

〔福祉健康部長〕 総合的に、障がい者を支援する施設と考えている。

〔問〕 「すみれの里」は、障がい者や親の会が協力して運用すべきと思うが、その点はどのように考えているのか。

〔市長〕 障がい者が協力して、連携することが重要と考えている。

▼快適な学校生活について

〔問〕 学校の扇風機は、どのような設置状況なのか。

〔教育部次長〕 学校での平均設置台数は、小学校が1.3台、中学校が1.4台、全体で1.35台である。

〔問〕 県内の他市の扇風機の設置状況は、どのようになっているのか。

れているのが1市、2台の設置が9市、4台の設置が1市である。

〔問〕各小学校に扇風機を設置するため、平成22年度に予算措置がされていたと思うが、なぜ設置されなかったのか。

〔市長〕東日本大震災が起こったため、予算の執行は見送られた。

〔問〕エアコンの設置は、将来的に考えているのか。

〔教育部次長〕学校施設の耐震化事業が平成27年度に完了する予定であり、その後に整備を計画したい。

〔問〕小・中学校の学校図書は、率はどうなのか。また、学校図書の確認はどのように行っているのか。

〔教育部次長〕平成24年度の学校図書の充足率は、小学校が99%、中学校が95・6%で、図書の確認は学校から蔵書数の報告がある。

〔問〕蔵書の更新や図書の購入は、学校長から要請があるのか。

〔教育長〕学校の図書担当職員が図書を選定し、最終的に学校長が承認している。

〔問〕教育委員会として、学校図書のある方を、どのように考えているのか。

〔教育長〕教育ニーズにあった図書が必要と考えており、今後も学校と教育委員会が連携していきたい。

下村 佳史 議員

▼教育の充実について

〔問〕本市の小学校や中学校で、携帯電話やスマートフォンを持っている割合は、どれくらいなのか。

〔教育部長〕4月の調査では、小学6年生で約42%、中学3年生で約67%が携帯電話等を持っている。

〔問〕インターネットや携帯電話によるトラブルは、どのような状況なのか。

〔教育部長〕架空請求や迷惑メール、ブログや掲示板の書き込みトラブルが発生している状況である。

〔問〕子どもたちのネット被害を防ぐために、どのような取り組みを行っているのか。

〔教育部長〕インターネットや携帯電話等の安全な使い方講座などを行っており、今後もさまざまな機会を利用して取り組んでいきたい。

〔問〕青少年の健全育成については、どのように考えているのか。

〔教育部長〕社会全体で育成する観点から、家庭・学校・地域・行政が連携して環境を整備する必要があると考えている。

〔問〕若者が地域で活動するきっかけづくりについては、どのような取り組みを行っているのか。

〔教育部長〕数年前から、若者が運

営する実行委員会方式で成人式を行っているが、これが地域づくりのきっかけになればと考えている。

〔問〕若者が地域に根ざした組織づくりを行うことについては、どのように考えているのか。

〔教育部長〕地域を愛する心やボランティア精神を育てる教育に力を注いで、地域活動を行う若者が増えるようにしたい。

▼安心安全なまちづくりについて

〔問〕消防団機庫の耐震診断は行っているのか。

〔危機管理部長〕第2・第3分団は耐震化されており、現在は第1・第4・第5分団の耐震診断を行っている。

〔問〕今後、消防団機庫を建て替える場合に、ポンプ自動車が出動しやすい場所に移転する考えはあるのか。

〔危機管理部長〕市の財政的な関係もあり、中・長期的に検討したい。

〔問〕市内には、自主防災組織はどれくらいあるのか。また、地域での防災訓練の開催は、どのような状況なのか。

〔危機管理部長〕自主防災組織は現在44の団体があり、その内18の団体が訓練を実施している。

〔問〕市全体での防災訓練は、どのように考えているのか。

〔危機管理部長〕災害時は地域住民の行動が最も重要と考えており、当面は小学校区単位により訓練を実施したい。

▼道路整備の充実について

〔問〕都市計画道路の穴虫田尻線は、今後どのように事業を進めていくのか。

〔都市環境部長〕接続道路や騒音問題は、住民の意見を十分聞いて対応していきたい。

〔問〕今後の都市計画道路の見直しは、どのように考えているのか。

〔都市環境部長〕現在、自動車や歩行者の交通機能、まちづくり計画から検証を行っており、優先順位を定めて事業化に取り組みたい。

〔問〕近鉄関屋駅前から田尻へ向かう市道は、バスなどの交通量が多く危険なため、道路を拡幅することはできないのか。

〔都市環境部長〕この道路は近鉄線と住宅などに隣接しているため、拡幅は難しいと考えている。

〔問〕歩行者の安全対策は、どのように考えているのか。

〔都市環境部長〕路側帯のグリーンベルト化が効果的と考えており、今後検討していきたい。



▲近鉄関屋駅から田尻へ向かう市道

池田 英子 議員

▼総合プールの再開について

〔問〕総合プール検討連絡会議の委員は、どのように選出を行ったのか。

〔都市環境部長〕市民を代表して市議会議長と議員1名、関係部長5名の合計7名で構成している。

〔問〕総合プールの存続を考えるとの方も委員に入れるべきであると思うが、その点はどのように考えているのか。

〔都市環境部長〕付属機関となれば議会の議決も必要で、また時間的な制約もあるため、このような構成になっ



▲プールを楽しむ子どもたち (平成23年8月)

た。
〔問〕総合プールは、今後、どのように改修を行っていくのか。

〔都市環境部長〕この検討連絡会議で、問題点を整理していきたい。

▼保育所の民営化について

〔問〕関屋保育所は、平成24年度が公設民営で、平成25年度から民設民営になったが、職員の形態はどのようになっているのか。

〔福祉健康部長〕平成24年度は、所

長と主任以外は社会福祉協議会の職員で、平成25年度からは全員が社会福祉協議会の職員である。

〔問〕民営化に対するデメリットは、どのような意見があったのか。

〔福祉健康部長〕デメリットについては、特に聞いていない。

〔問〕民営化後には、保育士からどのような意見があったのか。

〔福祉健康部長〕自分の目標ができて責任感が強くなり、働きやすくなったという意見もあった。

〔問〕働きやすくなったという意見であるが、それは公立でも同じだと思うが、その点はどのように考えているのか。

〔福祉健康部長〕この意見は臨時職員が正職員となり、やりがいが増えたということだと考えている。

〔問〕今後の職員の採用は、どのように考えているのか。

〔福祉健康部長〕市と社会福祉協議会で、今後、意見交換を行っていき

きたい。
〔問〕保育所を民営化したことにより、平成24年度はどれくらいの効果があったのか。

〔福祉健康部長〕平成23年度と比較して、約850万円の減額となっている。

〔問〕保護者と児童は卒園するまでの間、その保育所で保育を受け続

けることを期待し得る法的な地位がある。毎年の入所申込書は、二重の契約をすると思うが、その点はどのように考えているのか。

〔福祉健康部長〕年に一度は確認のため必要書類の提出を求めている。

〔問〕公立保育所で保育を受ける権利がある以上、民営化は法的な限界があると感じる。公立保育所の廃止は保護者の同意を求めらるべきと思うが、如何か。

〔福祉健康部長〕市の方針として民営化を実施しており、民間でできることは民間で考えている。

▼「子ども・子育て支援新制度」について

〔問〕国が考える子ども・子育て会議は、どのようなものなのか。

〔福祉健康部長〕現在、国で議論されているので詳細はわからない。

〔問〕本市の子ども・子育て会議は、どのような状況なのか。

〔福祉健康部長〕9月11日に第1回目を開催し、本市の子育て関係者を議論していただいた。

〔問〕本市の子ども・子育て会議は、どのような人が委員になっているのか。

〔福祉健康部長〕大学、民間の幼保、保護者会、PTA、子育てサークルそれぞれの関係者と、子育て中のお母さんの合計10名である。

中山 武彦 議員

▼市民の健康づくりについて

〔問〕本市の健康増進計画「健康かしば21」は、現在どのような取り組みを行っているのか。また、今後はどのように取り組んでいくのか。

〔健康局長〕食生活や身体活動、歯の健康や心の健康など、年代別に目標を定めて取り組んでおり、今後は介護予防を推進していきたい。

〔問〕生活習慣病を予防する観点から、今後はどのような改善が必要と考えているのか。

〔健康局長〕特定健診の受診率の向上や、生活習慣を改善して疾病を抑制することが重要と考えている。

〔問〕中高年の生活習慣病の予防は、今後、どのような対策を考えているのか。

〔健康局長〕地域で健康教室や講演会などを開催し、同世代との交流を支援していきたい。

〔問〕市民の健康づくりのために、どのような事業を行っているのか。

〔健康局長〕生活習慣病を予防するため、ウォーキングや健康体操などの取



▲健康体操で生活習慣病を予防

り組みを行っている。

〔問〕本市では、特に高血圧性疾患の方が多くが、予防的なことは行っているのか。

〔健康局長〕市民の健康増進を図るため、市役所や総合福祉センターなどに、自動測定の高血圧計を備えてつけている。

〔問〕市民の腎不全や糖尿病を予防するために、どのような対策をしているのか。

〔健康局長〕腎臓病を予防する講演会や歯周病の検診を実施して、重症化を抑制する支援を行っている。

〔問〕がん予防は、どのような対策を講じているのか。

〔健康局長〕子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診を実施している。

また、受診率の向上のために、5歳刻みの節目の年に無料クーポン券を配布している。

〔問〕最近では血液検査で、胃のピロリ菌を確認して胃がんのリスク判定を行うが、このような新しい検診は考えていないのか。

〔健康局長〕今後、検討していきたい。教育現場では、がん教育をどのように行っているのか。

〔教育部長〕中学校は生活習慣病の予防やがんについて学習しており、小学校では高学年が肺がんなどを学んでいる。

〔問〕今後のがん教育は、どのように考えているのか。

〔教育部長〕子どもたちが健康の大切さを学ぶためにも、今後はさら

にがん教育を進めていきたい。〔問〕健診を受けることにより、ポイントが加算される健康マイレージ制度の導入は、どのように考えているのか。

〔健康局長〕健康づくりの観点から、今後は健康マイレージ制度を検討したい。

子どもの安全と子育て支援について

〔問〕アレルギーのある子どもは、現在、どのような対応をしているのか。

〔健康局長〕保育所では、保護者に確認し、アレルギーや乳製品等を含まない食材を選んで対応している。

〔教育部長〕学校では、個別の状況を学校・保護者・教育委員会が協議し、アレルギー物質を含む食材等を除去して調理を行うなどの対応をしている。

〔問〕アレルギーのある子どもに、緊急時の安心カードを持っているらう

ことは、どのように考えているのか。〔健康局長〕子どもの情報を伝えるためには重要と考えるので、検討したい。

〔教育長〕今後、市の教育振興会の保健養護研究会で協議をしたい。

中村 良路 議員

JR香芝駅南側の狭隘な踏切と駅プラットホームの整備について

〔問〕JR香芝駅の南側にある踏切は、拡張できないのか。

〔都市環境部長〕JRへは要望しているが、線路の構造的な問題で拡張は難しいという回答である。

〔問〕駅舎のバリアフリー化を含め、JRとはどの程度協議しているのか。

〔都市環境部長〕バリアフリー基本構想も含めて、4回協議している。

〔問〕南側の踏切は、でこぼこして歩きにくいいため、フラットな形状に改良できないのか。

〔都市環境部長〕この踏切は、待避車線の脱線防止する構造となっているため、今後もJRに対して改良を要望していきたい。

〔問〕踏切の改良は、JRに対してどのように要望していくのか。

〔都市環境部長〕JRの担当者と現地の確認を行い、強く改良を要望していきたい。

〔問〕現在はプラットホームと電車の乗降口との段差が非常に大きいので、その改良はできないのか。

〔都市環境部長〕諸問題の改善について、今までもJRと協議してきたが、現時点でプラットホームを

改修する予定はないと聞いている。〔問〕プラットホームをかさ上げして、段差の解消はできないのか。

〔都市環境部長〕JRは、駅舎の橋上化と一体的に整備して段差の解消を図りたい意向である。

〔問〕駅舎の橋上化は、今後、どのような作業が必要なのか。

〔都市環境部長〕都市計画決定が必要で、他の公共事業の進捗や財政状況も勘案して検討したい。

〔問〕雨を防ぐため、跨線橋に屋根を設置することはできないのか。

〔都市環境部長〕屋根を設置するためには構造や強度の関係もあるため、JRに確認したい。

〔問〕JR香芝駅周辺の整備は、どのように考えているのか。

〔都市環境部長〕総合計画や都市計画マスタープラン、バリアフリー基本構想に則り対応していきたい。

〔問〕バリアフリー基本構想のアンケート調査では、満足度が低いとの結果であるが、その点はどのように考えているのか。

〔都市環境部長〕特にエレベーターやトイレなどの不満が多く、今後対応を検討したい。



▲整備要望があるJR香芝駅

▼市道沿いの側溝について

〔問〕道路沿いの側溝の危険箇所は、把握しているのか。

〔都市環境部長〕自治会や警察の要望により危険箇所を把握し、必要に応じて防護柵を設置している。

〔問〕危険箇所の防護柵の設置基準は、どのようになっているのか。

〔都市環境部長〕社団法人日本道路協会の防護柵設置基準に基づき、防護柵を設置している。

〔問〕通学路にある危険な側溝は、どのような対策を講じているのか。

〔都市環境部長〕通学路の安全対策は特に重要と考えており、関係機関と共に確認を行い対処している。

〔問〕教育委員会は、通学路の危険箇所をどのように把握しているのか。

〔教育部次長〕幼稚園や学校で通学路の安全点検を行い、教育委員会へ報告がある。

〔問〕通学路の危険箇所は、優先的に防護柵を設置できないのか。

〔都市環境部長〕交通状況や道路状況を踏まえ、通学路はすでに対処している。

〔問〕危険箇所を把握するために、ハザードマップを作ることにはできないのか。

〔都市環境部長〕危険箇所はすぐに対処する必要があり、ハザードマップは適さないと考えている。

中井 政友 議員

▼教育環境整備と子育て支援について

〔問〕香芝北中学校や香芝中学校は、中庭や配膳室前に給食室が設けられる用地があると思うが、その点はどのように考えているか。

〔教育部次長〕配膳室への動線や、給食検討委員会で算出された面積が不足するため、学校内に設けられないということである。

〔問〕中学校給食の策定会議で、公設や民設のセンター方式を検討されているが、どのような進捗状況なのか。

〔教育部次長〕検討委員会の提言後、策定会議においてもセンター方式が一番望ましいとの結論である。

〔問〕策定会議では、県外業者を選定されているが、なぜ、県内業者は入っていないのか。

〔教育部次長〕県内業者はデリバリー方式ができないこともあり、実績のある県外業者を選んだ。

〔問〕各学校の配膳室の計画は、職員会議で提案しているのか。

〔教育部次長〕給食検討委員会や策定会議には、学校の代表も参画されていると認識している。

〔問〕各学校の施設設備や人員計画は、どのように進めていくのか。

〔教育部次長〕今後、最終の報告書をいただいた時点で学校と協議したい。

〔問〕生徒・保護者・教職員の思いが同じになる努力は、どのように行っているのか。

〔教育部次長〕実施計画の策定報告書がまとまった時点で説明したい。

〔問〕学校現場での安全衛生委員会の設置は、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕現在は管理職や保健主事が職員の体調管理に努めており、今後、同委員会の設置を検討していきたい。

〔問〕市の予算で教職員を増やすことは、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕現在も学校の実情に応じた教員配置を県に要望しており、不足する人員は市費で配置している。

〔問〕二上小学校の教育環境は、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕児童数の急増は認識しており、平成24年度からは3年計画で学校の環境整備を行っている。



▲3年計画で環境整備を行う二上小学校

〔問〕住宅開発に伴う学校の適正規模は、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕新設や増改築、通学区域などで見直しを行っている。

〔問〕現在は、中学生の入院医療費は無料であるが、通院医療費も無料にできないのか。

〔健康局長〕入院の医療費無料化は市の単独で行っており、今後は財政状況も見極めて県にも助成制度の拡大を強く要望したい。

〔問〕本市の就学援助額は、なぜ、近隣の自治体よりも低いのか。

〔教育部次長〕本市は児童や生徒が多い事情もあり、現在は限られたなかで就学援助を行っている。

▼保育所の今後のあり方について

〔問〕認定子ども園や地域型保育給付は、自治体で独自の判断ができると聞いているが、その動向はどうなっているのか。

〔福祉健康部長〕子育て3法の関係は国で議論されており、その動向を見極めたい。

▼指定管理者条例制定について

〔問〕現在ほどの施設で、指定管理者を導入しているのか。

〔企画部長〕ふたかみ文化センター、自転車駐車場、モナミホール、体育施設などで導入している。

〔問〕指定管理者の情報公開は、どのように対応していくのか。

〔企画部長〕香芝市情報公開条例に基づいて対応したい。

平成25年12月定例会会期(予定)

月	日(曜日)	会議名
12	4日(水)	本会議
	6日(金)	総務経済委員会
	9日(月)	教育福祉委員会
	10日(火)	建設環境委員会
	16日(月)~17日(火)	一般質問
	19日(木)	本会議

(注: 議会運営委員会で日程変更される場合があります。)
 ※ 正式な会期・日程案は、11月21日の議会運営委員会で決定されます。

香芝市議会情報のご案内

本会議(一般質問など)や常任委員会(総務経済委員会、教育福祉委員会、建設環境委員会)、議会運営委員会、特別委員会などの会議録の検索、議案の議決結果、議員紹介、議会改革のあゆみ、傍聴の手続きなど、香芝市議会の情報を幅広くご覧いただけます。

香芝市議会ホームページ <http://www.city.kashiba.lg.jp/shigikai/>

議会の傍聴においでください

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で、傍聴人受付簿に住所、氏名及び年齢を記入していただくと、傍聴することができます。



- ◆ 定員/議場 44人
委員会については会議室が狭隘なため、議会事務局までお問い合わせください。
- 本会議の状況は、庁舎1階ロビーのモニターでもご覧になれます。

平成25年

議会日誌

- 8月28日 議会運営委員会
- 9月10日 本会議
- 9月12日 総務経済委員会
- 9月13日 教育福祉委員会
- 9月17日 建設環境委員会
- 9月21日 決算特別委員会
- 9月26日 一般質問
- 10月1日 香芝市デマンド交通出発式
- 10月3日 本会議・決算特別委員会
- 10月9日 香芝・広陵消防組合議会
- 10月10日 第7回香芝市職員採用及びび人事に関する調査特別委員会
- 10月18日 香芝・王寺環境施設組合議会特別委員会
- 10月25日 香芝・王寺環境施設組合議会
- 10月29日 奈良県市議会議長会県外都市視察研修
- 10月31日 建設環境委員会視察研修
- 11月7日 山口県防府市「防府クリーンセンターについて」
- 11月7日 山口県下松市「ごみ焼却施設及び余熱利用プール アクアピアこいしについて」
- 11月7日 香芝・王寺環境施設組合議会視察研修
- 11月11日 議会だより編集委員会
- 11月13日 総務経済委員会視察研修
- 11月13日 福井県敦賀市
- 11月13日 「地域防災情報システムについて」
- 11月13日 「庁舎の耐震化について」
- 11月13日 石川県輪島市
- 11月13日 「災害対策本部の運営について」
- 11月13日 教育福祉委員会視察研修
- 11月13日 岡山県真庭市「認知症に係る市と医師会の取り組みについて」
- 11月13日 岡山県玉野市「児童発達支援センターの取り組みについて」

編集後記

木々の葉も色づく季節となり、かえでは紅、いちじくは黄金、はなやかな錦の秋となりました。
 今年は、9月の台風18号に続き、10月に入ってから、26号、27号、28号と連続の台風による大雨によって、近畿地方など多くの地域に被害が出ています。
 この台風の影響により、広い範囲で土砂崩れや崖崩れが発生し、人的な被害のほか、家屋や道路の損壊、農業などにも多数の被害が生じました。被害に遇われた皆さまには、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。
 さて、香芝市議会では、10月~11月にかけて各常任委員会の行政視察研修を行い、先進地の事例などを踏まえ行政に反映させるため、市政発展に議員一丸となって取り組んでいます。

議会だよりは、市民の皆様に行われた事などをお知らせし、議会への信頼を持っていただくための一つのツールでもあり、市民の皆様が議員活動、改革への取り組みをわかりやすくお伝えするよう励んでまいります。ご期待下さい！
 ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。
 [問合せ] TEL 77-8221

- 議会だより編集委員会
- 委員長 川田 裕
 - 副委員長 池田 英子
 - 委員 中川 廣美
 - 細井 宏純
 - 森井 常夫
 - 中山 武彦